

芝浦 雄会

平成29年度総会資料



5月13日14時から実施

目次

- 02 平成29年度 総会次第
- 03 平成28年度 会計決算報告
- 05 平成29年度 会計予算(案)
- 07 引当金(決算報告・予算案)
- 09 平成28年度 事業報告
- 10 平成29年度 事業計画(案)
- 11 平成29年度 新役員(案)
- 12 板橋校舎サヨナラ企画 実施概要
- 17 芝浦工業大学附属中学高等学校同窓会(芝雄会)会則
- 19 芝浦工業大学附属中学高等学校同窓会(芝雄会)細則



平成29年度 総会次第

1.開会

2.会長挨拶

3.学校長挨拶

4.出席者自己紹介

5.議長選出

6.議事

(ア) 平成28年度事業報告

(イ) 板橋校舎サヨナラ企画 実施報告

(ウ) 平成28年度決算・監査報告

(エ) 平成29年度事業計画(案)

(オ) 平成29年度予算(案)

(カ) 平成29年度新役員(案)

(キ) 会則・細則(案)

7.閉会

平成28年度 会計決算報告

平成28年4月1日～平成29年3月31日

Ⅰ 収支一覧

単位：円

	項目	平成28年度 予算額	平成28年度 決算額	備考
収入の部	前年度繰越金	2,855,867	2,855,867	
	1 会費	4,762,000	4,315,000	
	a 在校生(準会員)	3,162,000	3,195,000	1,065名
	b 同窓生(同窓会員)	1,600,000	1,120,000	サヨナラ企画当日 会費納入額69万円 芝生祭・成人式・
	2 雑収入	30,000	71,737	寄付金収入
	3 引当金からの繰入	1,500,000	1,705,938	「記念事業引当金」の 口座を廃止
	4 板橋校舎サヨナラ企画収入	290,000	326,600	
	合計	9,437,867	9,275,142	
支出の部	1 運営費	470,000	528,673	
	2 広報費	1,210,000	1,160,887	
	3 事業費	5,050,000	2,852,384	
	4 慶弔費	70,000	0	
	5 会員活動補助費	610,000	710,190	
	6 在籍生活補助費	1,060,000	565,811	
	7 資産引当金	0	0	
	8 予備費	967,867	0	
	次年度繰越金	0	3,457,197	
	合計	9,437,867	9,275,142	

以上の通り、報告いたします。

会計 佐藤 太貴 印

会計 生駒 俊乃介 印

厳正な監査の結果、上記決算は適正かつ相違ないことを認めます。

平成29年5月13日 監査 清谷 尚充 印

監査 佐藤 元哉 印

Ⅲ 項目別支出

単位：円

科目	平成28年度 予算額	平成28年度 決算額	差額	備考
1 運営費	470,000	528,673	▲ 58,673	
a 会議費	220,000	263,890	▲ 43,890	学生幹事交通費含む
b 事務費	250,000	264,783	▲ 14,783	
2 広報費	1,210,000	1,160,887	49,113	
a 印刷製本費	520,000	523,284	▲ 3,284	「芝雄」
b 発送委託費	680,000	637,603	42,397	発行・送付
c 同窓会HP関係費用	10,000	0	10,000	サーバ代
3 事業費	5,050,000	2,852,384	2,197,616	
a 成人式	650,000	645,650	4,350	記念品含む
b 芝生祭	80,000	40,716	39,284	
c 行事準備金	50,000	0	50,000	
d 板橋校舎サヨナラ企画	4,270,000	2,166,018	2,103,982	
4 慶弔費	70,000	0	70,000	
5 会員活動補助費	610,000	710,190	▲ 100,190	
a 集合同期会・クラブOB会	450,000	550,190	▲ 100,190	16件
b 成人式記念同期会	160,000	160,000	0	
6 在籍生活活動補助費	1,060,000	565,811	494,189	
a 芝生祭	200,000	0	200,000	
b 体育祭・球技大会	250,000	251,860	▲ 1,860	体育祭Tシャツ半額補助
c 芝雄会賞（各種行事）	200,000	50,000	150,000	図書カード100枚
d 芝雄会奨励賞	300,000	226,547	73,453	
e 全国大会出場クラブ補助	110,000	37,404	72,596	水泳部1名、 電子技術研究部3名
7 資産引当金	0	0	0	
a 記念事業引当金	0	0	0	
b 各種引当金	0	0	0	
8 予備費	967,867	0	967,867	
9 次年度繰越金	0	3,707,197	▲ 3,707,197	
合計	9,437,867	9,525,142	▲ 87,275	

平成29年度 会計予算(案)

I 収支一覧

単位：円

	項目	平成28年度 予算額	平成28年度 決算額	平成29年度 予算額	備考
収入の部	前年度繰越金	2,855,867	2,855,867	3,707,197	
	1 会費	4,762,000	4,315,000	7,564,000	
	a 在校生(準会員)	3,162,000	3,195,000	3,324,000	1,108名
	b 卒業時一括納入(準会員)			3,640,000	182名
	c 同窓生(同窓会員)	1,600,000	1,120,000	600,000	卒業生
	2 雑収入	30,000	71,737	30,000	成人式収入
	3 引当金からの繰入	1,500,000	1,705,938	0	
	4 板橋校舎サヨナラ企画収入	290,000	326,600	0	項目削除
	合計	9,437,867	9,275,142	11,301,197	
支出の部	1 運営費	470,000	528,673	1,150,000	
	2 広報費	1,210,000	1,160,887	1,310,000	
	3 事業費	5,050,000	2,852,384	1,630,000	
	4 慶弔費	70,000	0	50,000	
	5 会員活動補助費	610,000	714,190	660,000	
	6 在籍生活補助費	1,060,000	565,811	1,300,000	
	7 資産引当金	0	0	3,000,000	引当金に組入
	8 予備費	967,867	0	2,201,197	
	次年度繰越金	0	3,707,197	0	
	合計	9,437,867	9,529,142	11,301,197	

以上の通り、提案いたします。

平成29年5月13日 会長 豊田 尚之 印

II 項目別支出

単位：円

科目	平成29年度 予算額	備考
1 運営費	1,150,000	
a 会議費	300,000	学生常任幹事交通費を含む
b 事務費	600,000	人件費30万円、印刷費30万円
c 施設拡充費	100,000	同窓会室の施設拡充経費
d 記念誌作成費	150,000	
2 広報費	1,310,000	
a 印刷製本費	600,000	「芝雄」発行・送付
b 発送委託費	700,000	
c 同窓会HP関係費用	10,000	サーバ代
3 事業費	1,630,000	
a 成人式	650,000	記念品含む
b 芝生祭	80,000	
c 還暦同期会	200,000	
d 三十路同期会	700,000	記念品含む
4 慶弔費	50,000	冠婚葬祭・退職記念品
5 会員活動補助費	660,000	
a 集合同期会・クラブOB会	500,000	
b 成人式記念同期会	160,000	
6 在籍生活補助費	1,300,000	
a 芝生祭	200,000	
b 体育祭	250,000	Tシャツ購入補助
c 球技大会	250,000	Tシャツ購入補助
d 芝雄会賞（各種行事）	200,000	漢字コンクール、スピーチコンテストなど
e 芝雄会奨励賞	300,000	優秀なクラブに対して卒業式に表彰
f 全国大会出場クラブ補助	100,000	
7 資産引当金	3,000,000	
8 予備費	2,201,197	
9 次年度繰越金	0	
合計	11,301,197	

引当金

平成28年度 会計決算報告

① 記念事業引当金

単位：円

	項目	平成28年度 予算額	平成28年度 決算額	備考
収 入	前年度繰越金	1,705,924	1,705,924	
	1 一般会計からの組入	0	0	
	2 利息	125	14	
	合計	1,706,049	1,705,938	
支 出	1 一般会計への組入	1,500,000	1,705,938	銀行口座を廃止
	合計	1,500,000	1,705,938	
収支差額		206,049	0	

② 各種引当金

単位：円

	項目	平成28年度 予算額	平成28年度 決算額	備考
収 入	前年度繰越金	1,581,428	1,581,428	
	1 一般会計からの組入	0	0	
	2 利息	250	12	
	合計	1,581,678	1,581,440	
支 出	1 一般会計への組入	0	0	
	合計	0	0	
収支差額		1,581,678	1,581,440	

平成29年度 会計予算(案)

資産引当金

単位：円

	項目	平成29年度 予算額	備考
収 入	前年度繰越金	1,581,188	
	1 一般会計からの組入	3,000,000	
	2 利息	250	
	合計	4,581,438	
支 出	1 一般会計への組入	0	
	合計	0	
	収支差額	4,581,438	

平成28年度 事業報告

平成29(2017)年5月13 (土)
芝雄会 事業部・広報部・総務部

2016

平成28年度芝雄会総会.....5月14日(土)

【総務部】準備・実施(会計報告、事業報告等)

高校球技大会.....5月28日(土)

【総務部】芝雄会賞(球技大会)の選考、後 授与

大学広報誌への広告掲載7月下旬

【広報部】大学広報誌 tot に芝雄会の活動や今後のイベント紹介する広告を掲載。(A4版1ページ)

芝雄.....9月下旬

【広報部】発行

第61回芝生祭.....10月1日(土)2日(日)

【総務部】芝雄会賞(芝生祭)の投票受付 【事業部】企画出展

最優秀 体賞	The DENGIKEN 8th / 電子技術研究部
優秀 体賞	あれです...う んと...北陸 / 鉄道研究部(展示部門)
	占いの館 / SE(体験部門)
	饗宴 ~吹奏楽部により~ / 吹奏楽部(ステージ部門)
特別 体賞(教員投票)	The DENGIKEN 8th / 電子技術研究部
最優秀ポスタ 賞	アイスクリ ム販売 / 高校テニス部
優秀ポスタ 賞	ピザ / 水泳部
特別ポスタ 賞(教員投票)	ピザ / 水泳部

還暦同期会.....10月1日(土)

【広報部】記念撮影

中学体育祭.....10月22日(土)

【総務部】クラスTシャツ購入補助、写真撮影

2017

高校・中学卒業式.....3月1日(水)・17日(金)

【総務部】同窓会奨励賞の授与

(中学) 吹奏楽部、弓道部、テニス部、水泳部、サッカー部
(高校) 吹奏楽部、野球部、鉄道研究部

第8回成人式.....3月11日(土)

【事業部】実施(ビンゴ大会、記念品贈呈)、サヨナラ企画の告知 【広報部】記念撮影

※新成人140名が参加。同期会(2次会)は91名(教職員数名)が参加

板橋校舎サヨナラ企画.....3月5日(日)・12日(日)・19日(日)・25日(土)・26日(日)

【板橋校舎サヨナラ企画事務局】準備・実施・広報・写真撮影

※約1200名が参加

通年事業

【総務部】計10回の常任幹事会の実施

【総務部】集合同期会およびクラブOB会に対する補助(同期会12件、クラブOB会4件)

【総務部】全国大会出場クラブ補助(水泳部1名、電子技術研究部3名、計4名)

【広報部】ホームページの運営・更新、SNS等を用いた広報活動

【広報部】各種学校行事の取材、板橋校舎の記録(校舎建物・桜・授業風景ほか)

平成29年度 事業計画(案)

平成29(2017)年5月13 (土)
芝雄会 事業部・広報部・総務部

2017

平成29年度芝雄会総会.....5月13日(土)

【総務部】準備・実施(会計報告、事業報告、役員選出)

高校球技大会.....5月27日(土)

【総務部】クラスTシャツ購入費援助・芝雄会賞(球技大会)の授与【広報部】取材

芝雄.....9月中旬

【広報部】発行

第62回芝生祭.....9月30日(土) 10月1日(日)

【総務部】芝雄会賞(芝生祭)の投票受付【事業部】企画出展【広報部】広報活動

還暦同期会.....10月7日(土)

【広報部】記念撮影

中学体育祭.....10月21日(土)

【総務部】クラスTシャツ購入費援助・芝雄会賞(体育祭)の授与

三十路同期会.....12月9日(土)

【事業部】準備・実施【広報部】記念撮影

2018

中学・高校卒業式.....3月1日(火)・23日(火)

【総務部】同窓会奨励賞の授与

第9回成人式.....3月17日(土)

【事業部】準備・実施【広報部】記念撮影

各部による通年事業

【総務部】常任幹事会の実施・運営(月1回程度)

【総務部】同期会およびクラブOB会に対する補助

【総務部】芝雄会賞(各種行事)の授与

【総務部】総会資料の発行

【広報部】各種学校行事の取材

【広報部】ホームページの運営および更新、SNS等を用いた広報活動

【広報部】動画・写真・会議資料などのアーカイブ化、および管理計画

平成29年度 新役員(案)

役職	氏名	卒業期	備考	
学校代表	大坪 隆明(学校)	校長	継続	
名誉会長	池澤 喜市	育英・4回生	継続	
会長	豊田 尚之	池袋,板橋・29回生	継続	
副会長	椎名 博俊	池袋・21回生	新任	
	川村 泰彬	板橋・54回生	継続	
	佐藤 太貴	板橋・56回生	前・会計	
	武永 翔	板橋・59回生	前・事業部長	
	藤田 鋭志	板橋・59回生	前・広報部長	
会計	福島 尚樹	板橋・56回生	再任	
	坂口 岳	板橋・62回生	前・総務副部長	
会計監査	清谷 尚充	池袋・26回生	継続	
	飯村 隼多	板橋・58回生	前・総務部	
書記	糠澤 努 (総務担当)	板橋・55回生	継続	
	山田 直輝 (事業担当)	板橋・56回生	継続	
	入島 礼旺 (広報担当)	板橋・58回生	前・広報部	
顧問	長島 英(学校)	—	継続	
	佐藤 元哉(学校)	池袋・23回生	前・会計監査	
相談役	寺田 典昭	池袋・7回生	継続	
	江藤 浩一	池袋・12回生、元校長	継続	
事務局	大和田 尚司(学校)	—	継続	
	岡田 元宏(学校)	池袋・25回生	継続	
総務部	部長	本多 隼也	板橋・54回生	前・副会長(事業担当)
	副部長	斎藤 優太	板橋・58回生	継続
		関口 亞聖	板橋・62回生	前・総務部
		本山 開渡 (板橋・60回生)	生駒 俊乃介 (板橋・62回生)	新入幹事2名
		松宮 一樹 (板橋・62回生)	足立 聡 (板橋・63回生)	
	雨宮 優太 (板橋・63回生)			
広報部	部長	小林 優多郎	板橋・55回生	前・副会長(広報担当)
	副部長	伊藤 遥紀	板橋・60回生	継続
		柴田 規央	板橋・62回生	前・広報部
		瀧井 数馬 (板橋・53回生)	荒井 裕貴 (板橋・56回生)	新入幹事2名
		岩崎 航 (板橋・57回生)	高木 大輔 (板橋・57回生)	
		平山 義活 (板橋・59回生)	山中 怜典 (板橋・61回生)	
	小島 元太朗 (板橋・63回生)	山口 将司 (板橋・63回生)		
事業部	部長	鈴木 勇太朗	板橋・55回生	再任
	副部長	林 大智	板橋・59回生	継続
		佐藤 純也	板橋・62回生	前・事業部
		井筒 健 (板橋・61回生)	大内 亮介 (板橋・62回生)	新入幹事2名
		浅野 智之 (板橋・62回生)	高橋 優登 (板橋・62回生)	
		浅野 誠 (板橋・62回生)	前橋 拓巳 (板橋・63回生)	
	山崎 悠立 (板橋・63回生)			

板橋校舎サヨナラ企画 実施報告

0. 開催概要

開催 時:【部活動OB向け校庭・体育館開放】

2017年3月5 () テニス部・水泳部

2017年3月12 () 剣道部

2017年3月19 () サッカー部・バレーボール部

【板橋校舎サヨナラ企画】

2017年3月25 (土) 12:30～16:00(懇親会:16:00～18:00)

2017年3月26 () 10:30～15:00(閉校式:15:00～15:30 校内サバゲー!:15:30～17:30)

開催場所:板橋校舎

来場者数:【部活動OB向け校庭・体育館開放】(全企画延べ人数・現役及び家族含む):約470名

(内訳)テニス部 :約10名

水泳部 :約200名

剣道部 :約50名

サッカー部 :約180名

バレーボール部:約30名

【板橋校舎サヨナラ企画】(2 間延べ人数):約700名

(内訳)芝雄会員:約350名(年会費回収済みの人数)

(+名札を付けないOB及び家族:約70名)

スタッフ:約200名

先生来賓:約80名



企画全体の総括

2016年度芝雄会総会にて、板橋校舎サヨナラ企画を校舎の豊洲移転をきっかけに、芝浦に再注目をしてもらう機会 芝雄会の活性化を促すことを目指す機会 板橋校舎での思い出、記憶を作る機会 と位置付けた。

「芝浦への再注目」 総会時点での目標来場者数1000名に対して、サヨナラ企画で約700名、部活動向けOB企画で約470名の来場があった。卒業から長く芝浦を離れた卒業生も、一連のイベントで芝浦に再注目するきっかけを作ることができたといえる。

「芝雄会の活性化」 板橋校舎サヨナラ企画については、一部企画の準備補助を除き学校及び芝雄会主体で準備・運営を行った。常任幹事以外のメンバーも多く準備に参画したことから、今後の芝雄会活動をより大きく持続的なものにしていく足掛かりとなったといえる。

「板橋校舎での思い出、記憶を作る機会」 来場者が 友や教職員方と楽しく会話する様子、家族と一緒に自分の卒業年度のアルバムを眺める様子、もう一度受けたいあの授業 で思い出の授業を真剣なまなざしで聞く様子などが見受けられた。来場者の反応も非常によく、最後に来てよかった という声も当 聞かれたことから、目的を十分に達成できたといえる。

1. 事前広報

板橋校舎サヨナラ企画の実施に先立ち、以下の事前広報を行った。

1.1. 卒業式予行(芝雄会勧誘と共に実施)

【実施時期】2015年2月27 ・2016年2月28

【概要】現役生(当時)へのイベント実施案内、ビラ配布、ポスター展示(2016年のみ)

1.2. 芝生祭ポスター展示

【実施時期】2015年10月2 ・3

【概要】イベント概要展示、企画アイデア投票の実施

1.3. フライヤー(スタッフ募集)

【実施時期】2016年3月

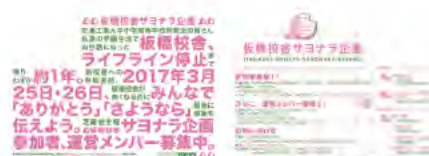
【概要】企画担当者や当 運営スタッフの募集



ホームページ



芝生祭ポスター展示



フライヤー(スタッフ募集)

1.4. 芝雄

【実施時期】2015年9月、2016年10月

【概要】特集を組み、企画概要・企画担当者コメントの紹介



フライヤー（招待状）



1.5. 大学広報誌（tot）広告

【実施時期】2016年7月

【概要】校舎移転に伴う企画実施のお知らせ

1.6. SNS（Twitter・Facebook）

【実施時期】2016年～2017年

【概要】ホームページ等の更新情報配信、当 の様子配信



1.7. ホームページ

【実施時期】2016年～2017年

【概要】事前登録フォームの設置、企画内容詳細の紹介

1.8. フライヤー（招待状）

【実施時期】2017年1月

【概要】8000部製作、大学広報誌に同封

1.9. 直前期ピラ

【実施時期】2017年2月～3月

【概要】芝雄会員向け（学校の 豊洲移転案内 に同封）、現役/退役教職員等への配布、部活動OB企画での配布

ピラ

広報全体の総括

従来からある 芝雄 ホームページ・SNS 以外にも、様々な広報手段を活用できた。特に、企画直前まで継続的かつ直接的な広報をできたことで、直前に参加を決定した（＝事前登録をしていない状態で来場した）人も多くなったと考えられる。

2. 板橋校舎サヨナラ企画 各企画の概況

2.1. 芝浦謎解き -心残り-（担当：遠藤友樹（54回生））

【概要】謎解きグッズ（クリアファイル・問題用紙・ペグシル）を200セット作成。

【評価点】クリアファイルが来場の記念品の役割を果たした。また、謎を解きながら校内を回る来場者が多く、企画の目的を果たしていた。



校舎らくがきスペース

2.2. 校舎らくがきスペース（担当：本多隼也（54回生））

【概要】ペンキやチョークを用意し、教室内のあらゆる箇所にらくがきをしてもらった。

【評価点】板橋校舎に対する感謝の言葉やイラストが多く見受けられた。



いたばしアーカイブス

2.3. いたばしアーカイブス（担当：上川大地（52回生））

【概要】板橋校舎時代（1982年～2016年）の卒業アルバムを展示。また、卒業アルバムから抜粋した写真類をポスターに印刷し、廊下や階段に展示した。

【評価点】多くの来場者が教室に訪れ、各年の卒業アルバムを閲覧していた。廊下や階段の展示も、過度に華美ではなく、板橋校舎サヨナラ企画の雰囲気馴染んでいた。

2.4. 板高はおかず（担当：佐藤成行（53回生））

【概要】教室を舞台にしたインスタレーションを作成・展示。

【評価点】使わなくなった校舎でしかできない、教室全体を使った芸術作品は、来場者からも すごい という声が多く上がっていた。



板高はおかず

2.5. サヨナララジオ（担当：藤田鋭志（59回生））

【概要】ジングル（毎時00分の案内）、企画案内等

【評価点】事前に録音したものを流したことで、安定して案内放送を流すことができた。

2.6. もう一度受けたいあの授業（担当：伊藤遥紀（60回生））

【参加者数（延べ人数）】土曜 230名、 曜 150名

【概要】現役/退役の先生方を招き、授業をして頂いた。内容は各先生方にお任せした。

【評価点】幅広い年代層が出席し、卒業生、登壇いただいた先生方ともに好評であった。

2.7. 弓道部 -真善美- (担当：林大智 (59回生))

【概要】OB指導の下での弓道体験(※ 曜 は雨天のため中止)

【評価点】 久々に弓を引けて良かった というOBの感想を受けた。

2.8. 鉄道研究部 走行会 (担当：塚目孝紀 (60回生))

【概要】鉄道研究部OBによる鉄道模型の走行、取材旅行(伊勢志摩)の様子展示

【評価点】サヨナラ企画がきっかけで、鉄道研究部でおなじみの 取材旅行 を、OBになっても再度行うことができた。

2.9. 思い出と筆を持つ (担当：齋藤優太 (58回生))

【概要】佐藤敬子先生(書道)による たくさんの思い出をありがとう板橋校舎 の書の掲示、来場者の書道体験。

【評価点】来場者の思い思いのコメントが寄せられていた。書道という形態であったが、気軽に立ち寄れる企画になっていた。

2.10. ウェルカム・コンサート (土曜日のみ) (担当：野々上魁 (56回生))

【概要】板橋校舎サヨナラ企画の開始に合わせて、吹奏楽部OBによる演奏。

【評価点】企画に合わせて来場するOBやPTAも多く見受けられた。

2.11. 全世代懇親会 (土曜日のみ) (担当：田口直介 (52回生))

【参加者数】懇親会費支払156名+当 スタッフ。

【概要】食事(ケータリング+ローストビーフ)・飲み物の提供、くじ引き大会、校歌斉唱

【評価点】別途ローストビーフを手配しふるまったのは好評であった。司会(鈴木・福島・田中:いずれも55回生)の選出も適切であった。事前登録の状況から食事数を減らした(400食→70食)ことで、廃棄食料を発生させずに済んだ。

2.12. 板橋校舎閉校式 (日曜日のみ) (担当：川村泰彬 (54回生))

【参加者数】約180名(設置した椅子の数、集合写真の様子から算出)

【概要】校舎の卒業証書 授与、伊尻元校長・大坪校長・卒業生代表(本多:54回生)挨拶、校歌斉唱。

【評価点】豊洲移転時の証跡を、校舎の卒業証書という形で残すことができた。

2.13. 校内サバゲー (日曜日のみ) (担当：幸寺亮典 (58回生))

【参加者数】約30名(別途装備レンタル費3000円を徴収)

【概要】校舎4階をフィールドにしたサバイバルゲーム(光線銃)を実施。

【評価点】専門業者から光線銃をレンタルし、フィールド設営なども話し合いながら行ったことで、事故等なくゲームを進行できた。

2.14. ケータリングカー (担当：田口直介 (52回生))

【概要】焼きそば及びドネルケバブ(曜 のみ)の販売。

【評価点】 曜 は雨天のため、ケータリングカーをエントランス前に移動した。それにより集客率が上がり、ドネルケバブをほぼ売り切った。

2.15. 飲み物販売 (担当：田口直介 (52回生))

【概要】飲料(紅茶、CCレモン、緑茶、烏龍茶:全て500mlペットボトル)を100円で販売。

【評価点】企画当 、自動販売機が稼働していなかったため、飲料販売は必要であった。

2.16. さよならグッズ (担当：小林優多郎 (55回生))

【概要】ボールペン・ミニタオル・マグカップ・ジャンパー・DVD・記念誌の制作・販売。

【評価点】マグカップ、ジャンパーは完売した。DVD・記念誌も一定数の購入希望があった。

2.17. 校庭開放 (日曜日:雨天中止) (担当：川村泰彬 (54回生))

【概要】ボールを用意し自由に遊べるスペースを提供した。

【評価点】広々とした空間で遊ぶことは普段なく、OBや子供たちがのびのびと遊べてよかったとの感想があった。



もう一度受けたいあの授業



思い出と筆を持つ



ウェルカムコンサート



全世代懇親会



板橋校舎閉校式

2.18. ゲート (担当：佐藤純也 (62回生))

【概要】板橋校舎最後のイベントで、芝生祭恒例のゲートを設置。

【評価点】ゲートを背景に記念撮影をする姿があった。

2.19. 当日パンフレット (担当：平山義活 (59回生))

【掲載内容】企画マップ・局長/会長/校長挨拶、企画紹介、芝雄会について(16ページ・フルカラー・1000部)

【評価点】キャンパスノートをイメージしたデザインは、企画にとって適切だったといえる。情報量も、当日パンフレット一冊で企画全体を回るのに必要十分であったと考えられる。

2.20. 受付 (担当：関口亞聖 (62回生))

【概要】来場者管理及び会費・懇親会費納入を目的に、1階エントランスに受付を設けた。

【評価点】必ず受付を通る配置にしたことで、来場者全員に名札を着用してもらうことができた。名札の背景部分を事前に印刷し、当日受付時に名前部分のみ印刷することで、質の高い名札を配布できた。

企画全体の総括

【評価点】

校内のあらゆる場所で、久しぶりの再会を喜ぶ卒業生の姿、昔お世話になった教職員達と会話が盛り上がる様子が見受けられた。休憩所を比較的多く設けたが、あまり使用率が高くなかったことから、来場者はあまり時間を持て余すことなく過ごせたといえるだろう。企画全体を通じて、内容は充実できたと考えられる。

全世代懇親会(土曜日)や閉校式、校内サバゲー(曜日)など、各日に目玉(節目)となる企画を設けたことで、企画終了時刻まで来場者をとどめておくことができた。また、いずれの企画も板橋校舎サヨナラ企画のコンセプトを体現できていた。

【反省点】

印刷物・制作物の準備について

芝浦謎解き 作業負荷が集中したことで問題用紙の発注が遅れ、土曜日の開場時に問題用紙を配布できなかった。

当日パンフレット 業者側の不手際により、短納期での発注＝金額増となった。

ゲート 企画立案時点と比較して準備スタッフが減ったため、また学校の引っ越し時期との兼ね合いにより準備期間を変更する必要があったため、ゲートの設計変更を行った。

当日マニュアルの整備について

校舎ペインティング マニュアルに明記していなかったため、窓に落書きされていた。校舎外からも見えるため、周辺への影響も考慮して、終了後スタッフにて対応を行った。

受付 想定以上に事前登録をしていない来場者がいたため受付が混乱し、当日参加の来場者や会費納入者の情報を控えられなかった。そのため、後継紐付け作業が発生した。

想定来場者数見直しに伴う発注数の変更について

オリジナルグッズ 当初の来場者想定(2日間2000名)を踏まえてボールペン及びミニタオルを制作したが、来場者数の見直しにより余剰在庫が発生した。

飲み物販売 想定来場者数の見直しに伴い、発注数も見直すべきであった。

ケータリングカー 最低食数が決まっていたこと、キャンセル代が早い段階から高かったことから、来場者数見直しの変更に合わせて食数を変更できなかった。



校内サバゲー



さよならグッズ
(マグカップ)



当日パンフレット



受付

3. 企画の実施形態に対する総括

3.1. 部活動OB向け校庭・体育館開放

いずれの部活動も幅広い層のOBが集まり、スポーツを通じて先輩後輩問わず盛り上がっていた。各部活動で企画後の懇親会なども行われた。芝雄会としても、企画後のクラブOB会補助、広報媒体への企画実施のお知らせ掲載などで、支援を行った。

3.2. 板橋校舎サヨナラ企画

校舎全体を使ったイベントは、常任幹事以外の芝雄会メンバー、そして大和田先生を筆頭とする教職員方の協力があって実現できた。特に学校側には、校舎移転作業(引っ越し)と並行して芝雄会との備品・施設調整も依頼したため、かなりの負担をお

掛けした。校舎移転 という今しかできないイベントの実施に際して、非常に多くのご協力、ご支援を賜ったことについて、この場をお借りして改めてお礼申し上げます。

後発の企画では、局次長が担当する企画も多くあった。これらについては、全体ミーティング等でも企画内容を詳細まで検討できていなかった。

4. 来場者・周囲の反応

PTA広報、大学広報、および栄光ゼミナールの中学受験情報誌(中学進学通信)から取材要請があった。取材担当の方からもこのような企画はなかなか存在しない という話があった他、サバイバルゲームで協力いただいた業者からも 学校をフィールドにしたサバイバルゲームはなかなかない という話があり、企画自体の目新しさは十分であったといえる。

全体を通じて、幅広い層の芝雄会員がイベントに参加した。例えば板橋校舎サヨナラ企画では、芝雄会の通常活動にはあまり参加しない層と言える30歳以上の卒業生が、参加者全体の4割程度を占めた。歴代の先生方、池袋時代の卒業生にも多くお集まりいただいた。

5. 企画準備スケジュール・体制

日付	活動内容	体制	
2015年 2月17	常任幹事会にて企画構想	局長	本多 隼也 (54回生)
2月29	卒業式予行(スタッフ募集告知)		川村 泰彬 (54回生)
5月14	総会(校舎移転に関する行事の事業計画化)	次長	小林 優多郎 (55回生)
9月	芝雄48号発行(企画構想お披露目)		武永 翔 (59回生)
10月2・3	芝生祭(企画構想お披露目・企画アンケート)		藤田 鋭志 (59回生)
11月7	学校との打ち合わせ		
2016年 2月20	学校との打ち合わせ		
3月4	一次企画書提出期限		
3月5	決起会		
3月19	二次企画書提出期限		
4月16	全体ミーティング		
5月14	全体ミーティング・総会(実施計画の承認)		
7月2	全体ミーティング		
8月27	全体ミーティング・キックオフ		
10月15	全体ミーティング		
12月10	全体ミーティング		
2017年 1月21	四次企画書提出期限 学校との打ち合わせ・全体ミーティング		
2月18	全体ミーティング		
3月5	部活動OB向け企画(テニス部・水泳部)		
3月12	部活動OB向け企画(剣道部)		
3月18	全体ミーティング(以後、準備開始)		
3月19	部活動OB向け企画(サッカー部・バレーボール部)		
3月25・26	板橋校舎サヨナラ企画		
3月27	借用備品 板橋→豊洲運搬		

※この他、必要に応じて個別の打ち合わせや局次長会を実施した。

企画準備スケジュール・体制の総括

企画を立案した2015年初頭から、およそ2年掛けて本イベントを実現した。途中で事務局体制を確立し、局長+次長4名の体制で準備を進めた。この体制により、問い合わせに迅速に対応できた。また、各企画担当者と密に連携できた。

常任幹事会の開催 程に合わせて(一部除く)全体ミーティングを実施し、懸案事項や追加調整事項は局次長会や個別打ち合わせを別途実施した。早い段階から動き出し、様々な調整ができたと考える。

6. その他引き継ぎ事項

会計処理について 各企画からの会計報告フォーマットを周知しなかったため、大和田先生に領収書だけ手渡される事態が頻発した。その結果、会計処理で多大なる負担をおかけした。

芝浦工業大学附属中学高等学校同窓会(芝雄会)会則

第1章 名称及び本拠地

第1条 本会は芝浦工業大学附属中学高等学校同窓会と称し、略称を芝雄会とする。
本拠地を芝浦工業大学附属中学高等学校におく。

第2章 目的

第2条 本会は母校の発展に寄与し、併せて会員相互の親睦と向上を図ることを目的とする。

第3章 事業

第3条 本会は第2条の目的を達成するため次の事業を行う。

1. 会員相互の連絡ならびに母校との緊密な連携。
2. 機関紙(芝雄)の発行。
3. ホームページの更新、維持
4. 会員相互の親睦を図るための事業。
5. その他本会の目的を達成するために必要な事業。

第4章 会員

第4条 本会の会員は正会員と準会員がある。

1. 東京鐵道中学、東京育英中学、東京育英中学校、東京育英高等学校、芝浦工業大学高等学校、芝浦工業大学中学校、芝浦工業大学附属高等学校、及び芝浦工業大学附属中学校の卒業生をもって正会員とする。
2. 1項の学校に在籍歴があり本会に入会を希望し、常任幹事会で認められた者を正会員とすることができる。
3. 芝浦工業大学附属中学校、芝浦工業大学附属高等学校の在校生をもって準会員とする。

第5章 役員

第5条 本会には次の役員をおく。

会長 1名 副会長 若干名 会計 2名 書記 2名 部長 各1名 副部長 若干名 常任幹事 若干名
幹事(各期 ホームルームより選出) 監査 2名 学校代表・名誉会長・相談役・顧問 若干名

第6条 役員を選出は次のとおりとする。

1. 会長、副会長、会計、監査は役員選出委員会で選出し、総会の承認を得る。
2. 書記は会長が委嘱し、総会に報告する。
3. 幹事は各期 ホームルームより選出し、総会に報告する。
4. 各正副部長は各部員の互選とし、総会に報告する。
5. 常任幹事の選任は、役員3役(会長・副会長・会計)の推薦を受けて、常任幹事会の承認を得て、適宜選任する。
6. 顧問、名誉会長及び相談役は会長が常任幹事会で推薦し、総会に報告する。

第7条 役員の仕事は次のとおりである。

1. 会長は本会を代表し、会務を統轄する。
2. 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはこれを代行する。
3. 会計は総会が決定した予算に基づいて一切の会計処理をし、本会の財産を管理する。
4. 書記は各会議の議事録を記録し、会長の指示により庶務を行う。
5. 会長、副会長、会計、書記、各正副部長は常任幹事会を組織し、本会の中核機関として会務を協議する。
6. 幹事は各期 ホームルーム内の連絡に当たり、常任幹事会を補佐する。
7. 監査は本会の経理を監査し、必要あるときは会計及び会の運営について助言を行う。
8. 次の各部を設ける。各部は互いに連絡を密に連携して各事業を実施する。また各常任幹事は各部に所属する。
 1. 総務部 本会及び各部の統括を行ない、各会議を運営する。

2. 事業部 本会が実施すべき事業を企画立案し、常任幹事会へ事業計画案を上程し、またその事業を執行する。
3. 広報部 本会の機関紙(芝雄)を編集発行し、ホームページの更新・維持をして、総会決定事項や常任幹事会議事等の本会の活動などを会員に知らしめる。

第8条 各役員任期は2年とする。但し再任は妨げない。

第6章 会議

第9条 本会の会議は総会、臨時総会、常任幹事会、幹事会、役員選出委員会とする。

第10条 総会は年1回(原則5月の第3土曜)に開催し、会則の改正、役員選任、事業報告、事業計画、決算報告、予算その他本会の運営に関して必要な事項を審議し承認決定する。

第11条 臨時総会は常任幹事会が必要と認めるときに開催する。

第12条 常任幹事会は必要に応じて開催する。

第13条 常任幹事、幹事及び監査は幹事会を組織する。幹事会は必要に応じて開催し、また、総会に替えることができる。

第14条 役員選出委員会委員は幹事会より互選にて適宜選出する。

第15条 会議はすべて会長が招集する。

第16条 議事は出席者の過半数を以て決定する。また、議長はその会議において適宜選出する。

第7章 会計

第17条 本会の経費は会費ならびに寄付金を以て充てる。

第18条 本会の会費は次のとおりとする。

1. 正会員の納入する会費(額は別に定める)
2. 準会員保護者が在校中に納入する会費(額は別に定める)

第19条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わるものとする。

第8章 改正

第20条 本会則の改正は常任幹事会の協議を経て総会で承認する。

第9章 細則

第21条 本会の運営に関し必要な細則(慶弔規則その他)は常任幹事会の議決を経て別に定める。

第10章 雑則

第22条 本会則に規定のない必要な事項は常任幹事会で協議し執行する。

付 則

本会則は平成4年(1992年)3月11日に改定し同年4月1日より施行する。

一部改定し、平成10年(1998年)5月16日より施行する。

一部改定し、平成22年(2010年)5月16日より施行する。

一部改定し、平成24年(2012年)5月12日より施行する。

一部改定し、平成28年(2016年)5月14日より施行する。

一部改定し、平成29年(2017年)5月13日より施行する。

芝浦工業大学附属中学高等学校同窓会(芝雄会)細則

○行事優秀表彰規定

各種校内行事、資格、課外活動等で優秀な成績を残した生徒に芝雄会賞を授与し、副賞を贈呈する。なお、賞は芝雄会賞(行事名)と表記する。

【芝生祭】

芝生祭において投票により決定した出展団体に対し芝雄会賞(芝生祭)を授与する。

賞の種類や投票方法は生徒会および芝生祭実行委員会と合議の上、決定する。

【球技大会(高校生のみ)】

各種目で優勝した生徒に芝雄会賞(球技大会)を授与する。副賞を贈呈する。

【スピーチコンテスト】

各学年で優秀な成績を収めた生徒に芝雄会賞(スピーチコンテスト)を授与する。

副賞を贈呈する。

【英検・漢検】

優秀な級を取得した生徒に芝雄会賞(英検もしくは漢検)を授与する。

基準は2級程度以上とする。賞状を授与し、副賞を贈呈する。

【情報系資格】

情報担当教諭が優秀と認める資格を取得した生徒に芝雄会賞(資格名)を授与する。

情報担当教諭による申請制とし、常任幹事会の決定をもって賞の授与を決定する。

賞状を授与し、副賞を贈呈する。

【その他(申請制)】

以上のいずれにも当てはまらない場合で、優秀な功績を修めたとき、芝雄会賞(功績名)を授与する。

常任幹事会の決定をもって賞の授与を決定する。賞状を授与し、副賞を贈呈する。

○会費規則

会 員:一口3,000円とし、年間一口以上とする。

準会員:在校中年間3,000円とする。

○慶弔規則

【慶事】

会 員:役員、役員経験者で、常任幹事会が協議し、お祝いすると認めたものに対し、お祝いを贈る。その額、方法はその都度常任幹事会で決定する。

先 生:現職、退職者で結婚、退職その他常任幹事会が認めたものに対し、お祝いを贈る。その額、方法はその都度常任幹事会で決定する。

関係者:当会に深く関係する、法人、父母の会関係者で常任幹事会が協議し、お祝いすると認めたものに対し、お祝いを贈る。その額、方法はその都度常任幹事会で決定する。

【弔事】

会 員:役員、役員経験者、その他当会に貢献したと常任幹事会が認めたものの訃報を受けた時、会長、副会長が協議して、弔意を決定する。その額は常識内とし、方法は会長に一任する。

先 生:現職、退職者から訃報を受けた時、会長、副会長が協議して、弔意を決定する。その額は常識内とし、方法は会長に一任する。

関係者:当会に深く関係する法人、父母の会関係者から訃報を受けた時、会長、副会長が協議して、弔意を決定する。その額は常識内とし、方法は会長に一任する。

○卒業生のクラブ表彰規定

卒業式当 年に中学3年間、高校3年間それぞれで優秀な功績を残したクラブ、同好会に 芝雄会奨励賞 を授与し、副賞を贈呈する。選考においては、各クラブ、同好会に卒業対象学年の活躍ぶりや功績を提出してもらい、常任幹事会において協議の上、表彰する団体を決定する。

追記:芝生祭をはじめとするその他の表彰は 芝雄会賞 とする。

○交通費支給規定

学生(浪人生を含む)が総会、常任幹事会、各種部会、各種行事に出席した際、希望する会員に限り交通費として2,000円を支給する。支給の際は受領書の提出を求めるものとする。2,000円を超える交通費を求める場合は、常任幹事会の承認を得るものとする。

○芝雄会同期会およびクラブOB会に関する補助規定

同期会の補助は、15人以上の出席をもって、一律3万円を補助する。なお、同期会終了後、出席者名簿と会の写真を事務局(学校)に提出すること。提出された写真や開催概要は、広報目的に利用されることを承諾したものとする。

部活動等のOB会についても原則として15人以上を補助の対象とし、同期会の場合と同じとする。ただし、15人未満もしくは3万円を超える補助を求める場合は、常任幹事会の承認を得るものとする。また、同期会やクラブOB会の出欠を尋ねるための往復はがき(一般はがきや封書も可)はその発送業務および発送に関わる費用を芝雄会が負担できる。

鐵中・育英・芝浦
100周年に向かって

芝雄会

平成29年度芝雄会総会

芝浦工業大学附属中学高等学校
豊洲新校舎にて5月13日実施

本資料に関するお問い合わせ先
芝雄会総務部 soumu@shiyuukai.com